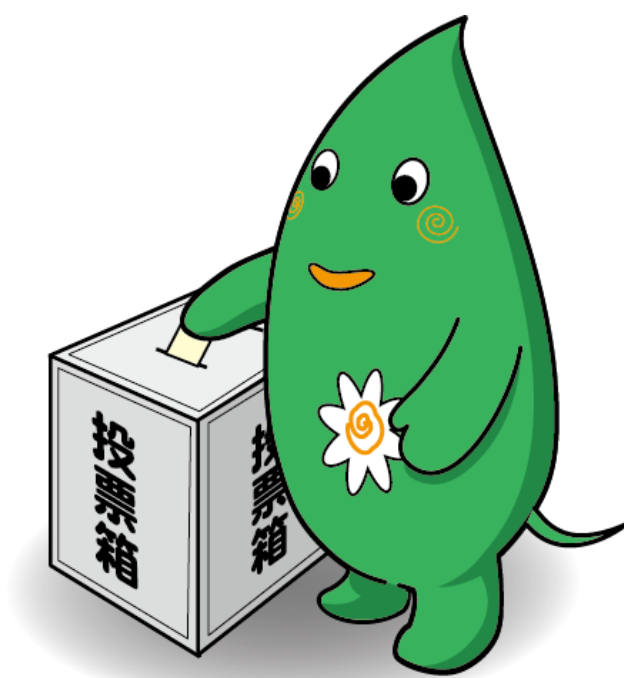


令和2年度

政治と選挙の意識調査



大和市イベントキャラクター「ヤマトン」

大和市明るい選挙推進協議会
大和市選挙管理委員会

◆◆ はじめに ◆◆

大和市の有権者の皆さんは、政治や選挙について日ごろどのような意見や考えをお持ちなのでしょうか。

大和市では、明るい選挙推進活動の一環として、毎年度、市内にお住いの有権者を対象とした「政治と選挙に関する意識調査」を実施しておりますが、今年度も市内在住の1,000人の有権者の方々に調査票をお送りし、ご協力をお願いいたしました。

近年は、選挙のたびに投票率の低さが話題になりますが、中でも若年層の投票率の低さが問題となっていることから、特に10代の意見を収集するため、対象者1,000人のうち200人を18歳と19歳の有権者とし、それぞれ100人ずつ抽出してアンケート用紙を送付いたしました。

令和2年度は、大和市において選挙の執行はありませんでしたが、新型コロナウイルス感染症が拡大したことから、今回の調査では、コロナ禍での投票に関する設問を設定いたしました。

コロナ禍での選挙は、感染を恐れて投票に行かないという考えの人もいることから、投票所での感染症対策の取り組みや密が避けられる期日前投票所での投票について、周知していきたいと考えております。

大和市明るい選挙推進協議会と大和市選挙管理委員会は、投票率向上に向けて、有権者に対するさまざまな啓発活動を行っておりますが、この活動がより効果的となるよう、今回の調査結果を活用してまいります。

併せて、この調査を通して有権者の皆さんが、政治や選挙への興味と関心をさらに高めていただくきっかけや参考となれば幸いです。

最後に、この調査の実施に際し、多くの有権者の皆さんにご協力いただきましたことを深く感謝いたします。

令和3年3月

大和市明るい選挙推進協議会
大和市選挙管理委員会

目 次

1	調査の概要	1
2	回答者の構成	2
3	調査結果	4
	（1）生活・政治に関する意識	4
	問 1 生活の満足度	4
	問 2 国政への満足度	5
	問 3 国政への関心度	6
	問 4 支持する政党の有無	7
	（2）低投票率に対する意識	8
	問 5 低投票率に対する意識	8
	問 6 低投票率の理由	9
	問 7 低投票率の対策	10
	問 8 期日前投票制度の認知度	12
	（3）外国人の参政権に対する意識	13
	問 9 選挙権に対する意識	13
	問 10 被選挙権に対する意識	14
	（4）国民投票制度に対する意識	15
	問 11 国民投票制度の認知度	15
	（5）コロナ禍で行う選挙に対する意識	16
	問 12 コロナ禍での投票	16
	（6）意見・感想の集計	17
4	調査票	18
5	資料	20
	（1）衆議院小選挙区選出議員選挙投票率の推移（大和市）	20
	（2）参議院神奈川県選出議員選挙投票率の推移（大和市）	20
	（3）神奈川県知事選挙投票率の推移（大和市）	21
	（4）神奈川県議会議員選挙投票率の推移（大和市）	21
	（5）大和市長選挙投票率の推移	22
	（6）大和市議会議員選挙投票率の推移	22

1 調査の概要

1 調査の目的

選挙において投票する際には、普段から政治について知識と関心を持ち、さらに「投票」という有権者としての意思表示に参加する意欲を持つことが必要です。この参加意欲の向上を図るために、選挙啓発活動は重要な役割を担っています。

有権者の政治や選挙に対する意識は、年代や性別などによりさまざまですが、その違いを的確に把握することで、より効果的な選挙啓発活動を行うことが可能となります。

今回の調査は、有権者の生活や政治に関する意識のほか、選挙時の投票行動について調査したものであり、今後の選挙啓発活動に役立てるための資料とするものです。

2 調査の方法

- (1) 調査対象者：市内に居住する満18歳以上の男女
- (2) 調査対象者数：1,000人（男性511人 女性489人）
 - ① 20歳以上の有権者から800人（男性418人 女性382人）
 - ② 18歳の有権者から100人（男性52人 女性48人）
 - ③ 19歳の有権者から100人（男性41人 女性59人）
- (3) 抽出方法：選挙人名簿から無作為に抽出
- (4) 調査方法：郵便調査法（回答も郵便による）

3 調査した事項（18・19ページ調査票参照）

- (1) 生活・政治に関する意識
- (2) 低投票率に対する意識
- (3) 外国人の参政権に関する意識
- (4) 国民投票制度に対する意識 ほか

4 調査の実施時期

令和3年1月27日発送（令和3年2月20日締切）

5 調査票の回収数・回収率

405枚・40.5%

6 調査結果の集計

大和市選挙管理委員会のPCにより集計

※端数処理の関係で100%にならない場合があります。

7 調査結果の分析

大和市明るい選挙推進協議会及び大和市選挙管理委員会

8 調査の実施主体

大和市明るい選挙推進協議会及び大和市選挙管理委員会

2 回答者の構成

《年代別》

	年代	回答者 (人)	比率 (%)
1	18～19歳	52	12.8
2	20～24歳	7	1.7
3	25～29歳	21	5.2
4	30～39歳	30	7.4
5	40～49歳	57	14.1
6	50～59歳	66	16.3
7	60～69歳	67	16.5
8	70～79歳	71	17.5
9	80歳以上	33	8.2
	無回答	1	0.3
	計	405	100.0

《男女別》

	性別	回答者 (人)	比率 (%)
1	男	99	24.4
2	女	175	43.2
	無回答	131	32.4
	計	405	100.0

《職業別》

	年代	回答者 (人)	比率 (%)
1	農・林・漁業	1	0.2
2	商・工業	7	1.7
3	自由業	8	2.0
4	建設業	8	2.0
5	管理職	26	6.4
6	事務職	39	9.6
7	専門技術職	38	9.4
8	現業職・販売職	70	17.3
9	主婦・主夫(専業)	95	23.5
10	学生	52	12.8
11	その他の無職	55	13.6
	無回答	6	1.5
	計	405	100.0

《 地区別 》

	居 住 地 区	回答者 (人)	比 率 (%)
1	下鶴間・つきみ野	82	20.2
2	中央林間・中央林間西	46	11.4
3	南林間・林間・鶴間(2丁目)・西鶴間(1、2、6～8丁目)	65	16.1
4	鶴間(1丁目)・西鶴間(3～5丁目)	15	3.7
5	上草柳・桜森	20	4.9
6	深見、深見西、深見東、深見台、大和東、大和南	40	9.9
7	中央・草柳(1、2丁目)、下草柳	29	7.2
8	草柳(3丁目)・柳橋・福田(1～8丁目)	18	4.4
9	上和田(上和田団地を除く)	33	8.1
10	上和田団地・下和田・いちょう団地	8	2.0
11	福田(地番)・渋谷・代官	47	11.6
	無回答	2	0.5
	計	405	100.00

《 居住年数 》

	現住所の 居住年数	回答者 (人)	比率 (%)
1	1年未満	22	5.4
2	1～5年未満	55	13.6
3	5～10年未満	44	10.9
4	10～20年未満	112	27.6
5	20～30年未満	55	13.6
6	30年以上	109	26.9
7	わからない	2	0.5
	無回答	6	1.5
	計	405	100.0

《 投票所までの所要時間 》

	投票所までの 所要時間	回答者 (人)	比 率 (%)
1	5分未満	98	24.2
2	10分未満	128	31.6
3	20分未満	68	16.8
4	20分以上	10	2.5
5	わからない	31	7.6
	無回答	70	17.3
	計	405	100.0

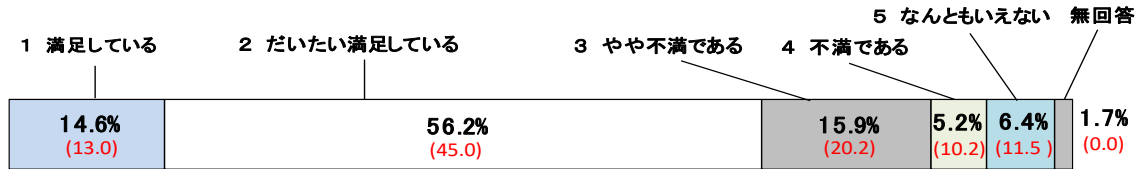
※「徒歩」による移動を想定

3 調査結果

(1) 生活・政治に関する意識

生活の満足度

問1 あなたは、現在の生活についてどう感じていますか。



注：()内は令和元年度の数値(以下同じ)

調査の結果を生活満足層（1と2を回答した人）と、生活不満足層（3と4を回答した人）とに分けて、最近12年間の推移を示したものが図1です。

前年と比較して、満足層は12.8ポイント増加して70.8%、一方、不満足層は9.3ポイント減少して21.1%でした。

最近12年間では、平成23年以降、満足層が50%を超えて増加傾向を示していましたが、今回調査では70%を超え、不満足層は、平成20年の42.1%の半分まで減少し、最も少なくなりました。

また、男女別では、満足層は男性64.6%、女性75.3%で、不満足層は男性28.3%、女性15.5%と、女性の満足の高割合が高く、昨年の調査と逆転する結果となりました。

図1 生活満足度の推移

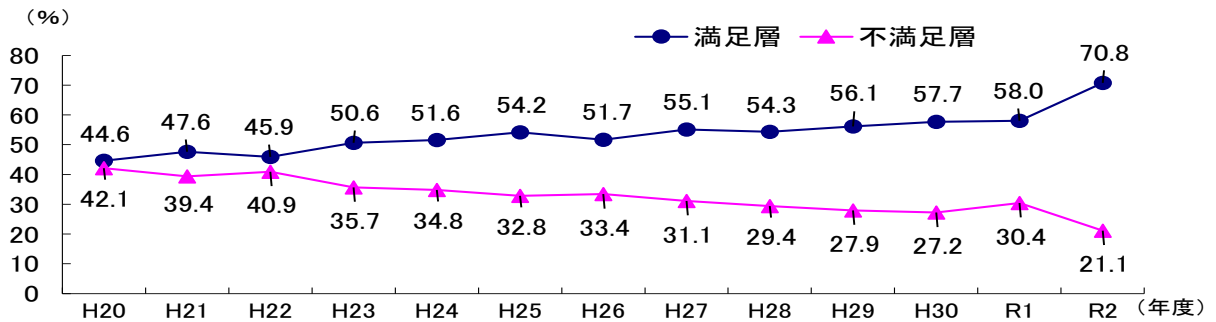
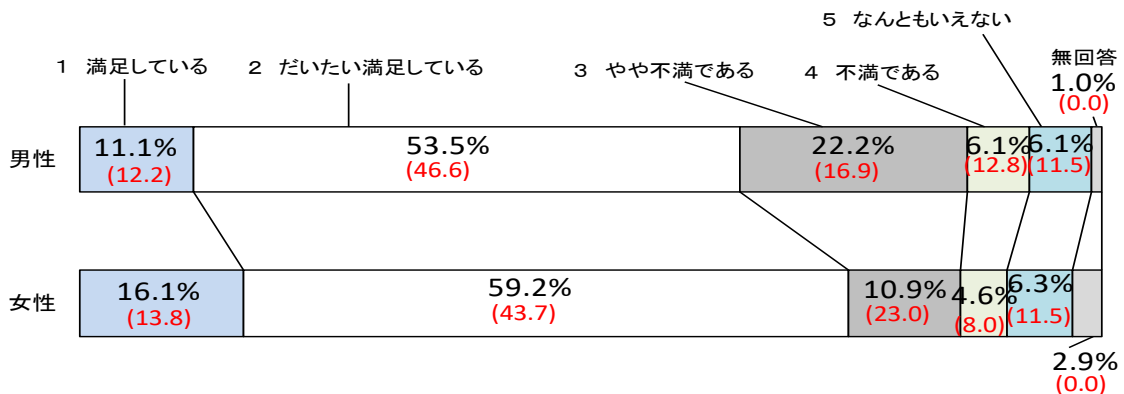
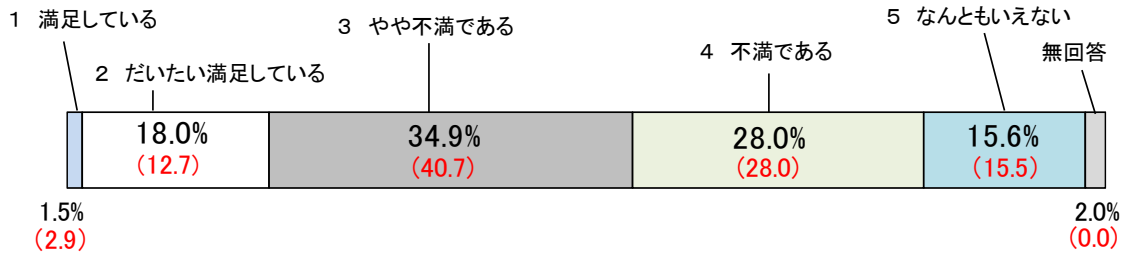


図2 男女別生活の満足度



問2 あなたは、現在の国の政治についてどう感じていますか。



国政に対する満足層（1と2を回答した人）は、前年より3.9ポイント増加して19.5%であるのに対し、不満層（3と4を回答した人）は、前年より5.8ポイント減少して62.9%と、依然として国政に対する不満が高い状況が続いています。

最近12年間を見ても、満足層は平成25年に10ポイント近く増加し10%を超えましたが、その後は大きく増えることはなく、20%を超えることはありません。また、不満層につきましては、同年に20ポイント近く減少し、平成27年から60%台で推移しています。

また、男女別では、満足層は男性24.2%、女性は16.6%で、不満層は男性65.7%、女性63.5%と、どちらも男性の割合が高い結果となりました。

図3 国政満足度の推移

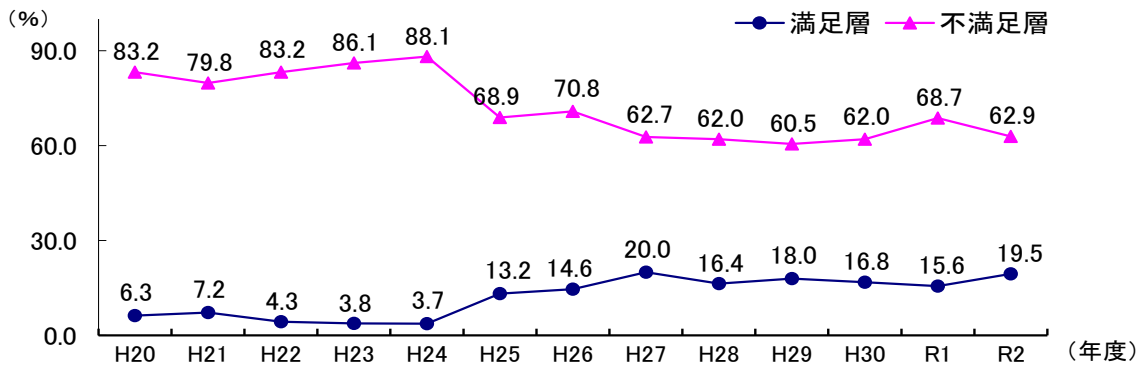
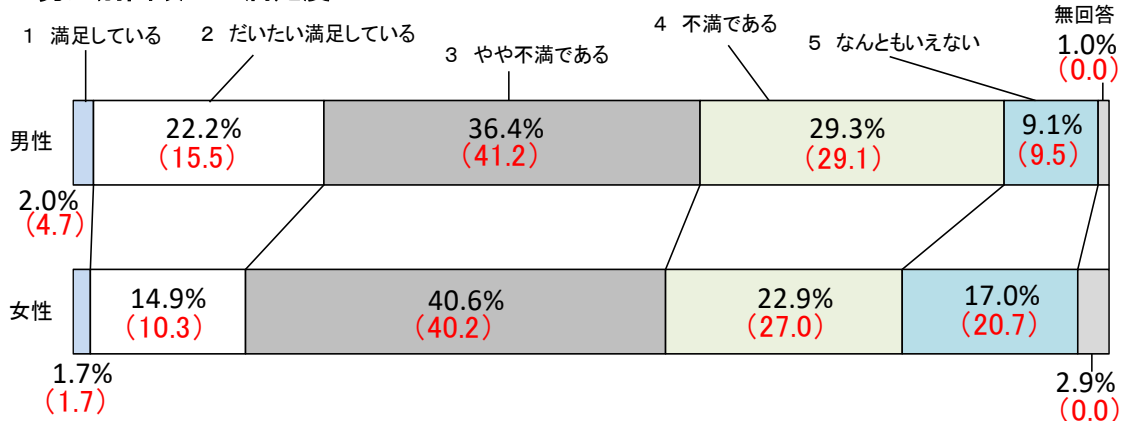
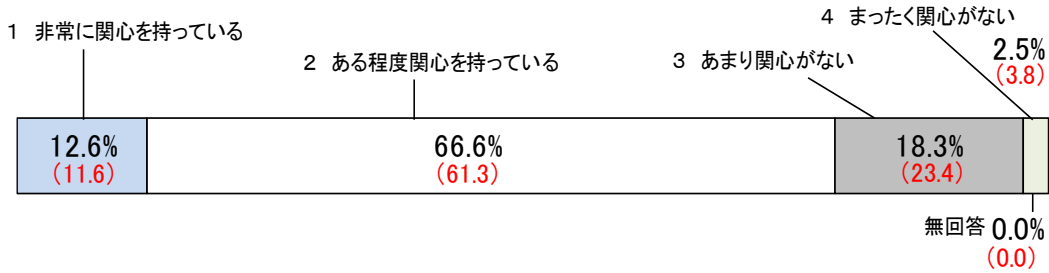


図4 男女別国政への満足度



問3 あなたは、日頃国の政治に関心を持っていますか。

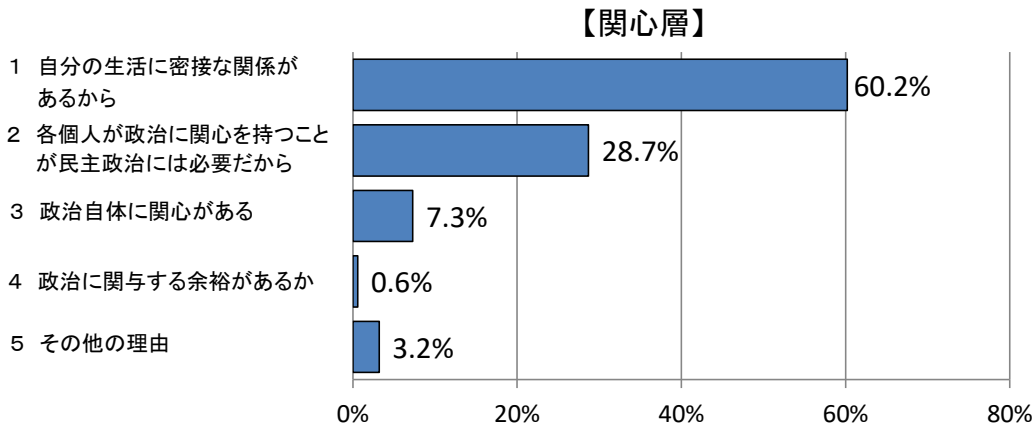


国の政治に関心を持っている人（1と2を回答した人）は79.2%と、昨年よりも6.3ポイント高くなり、関心がない人（3と4を回答した人）は20.8%と、昨年よりも6.4ポイント低くなっていることから、国政への関心が高まっていることが分かります。

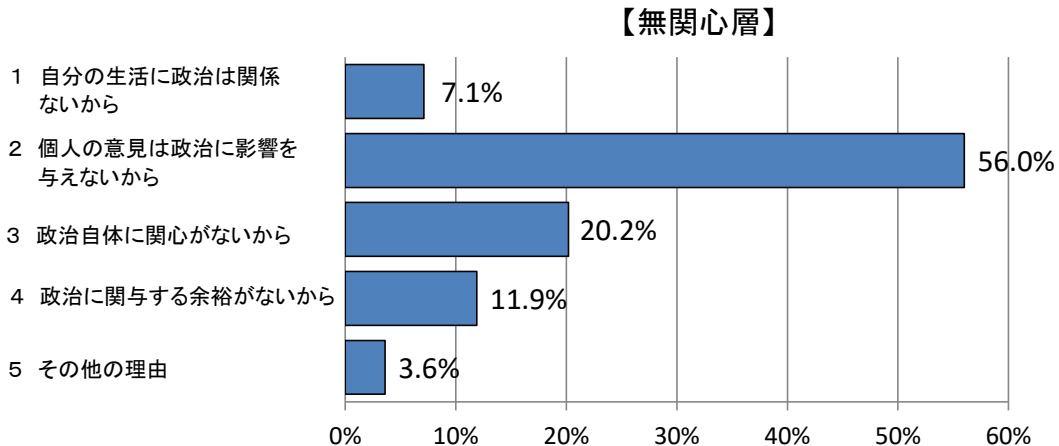
関心層の理由としては、「自分の生活に密接な関係があるから」（60.2%）が、毎年高い結果となっています。

一方、無関心層では「個人の意見は政治に影響を与えないから」が56.0%で最も高く、続いて、「政治自体に関心がないから」（20.2%）で、いわゆる「あきらめ型」といえる人たちが8割近くを占めています。

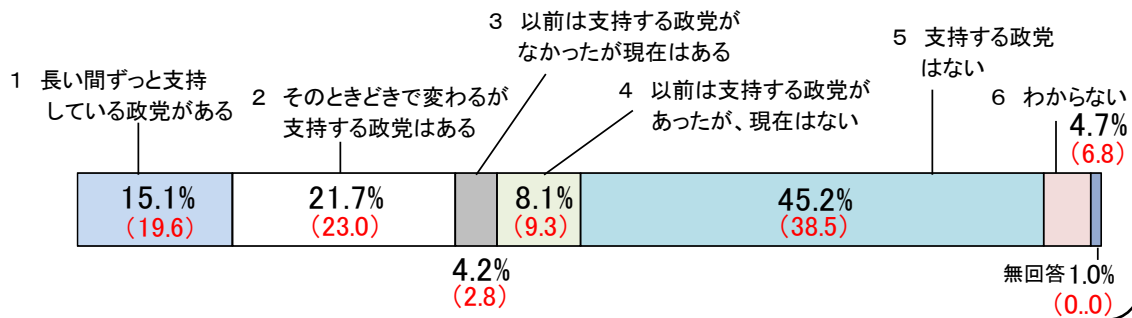
問3の1 その理由はなんですか。



問3の2 その理由はなんですか。



問4 あなたは、支持する政党がありますか。

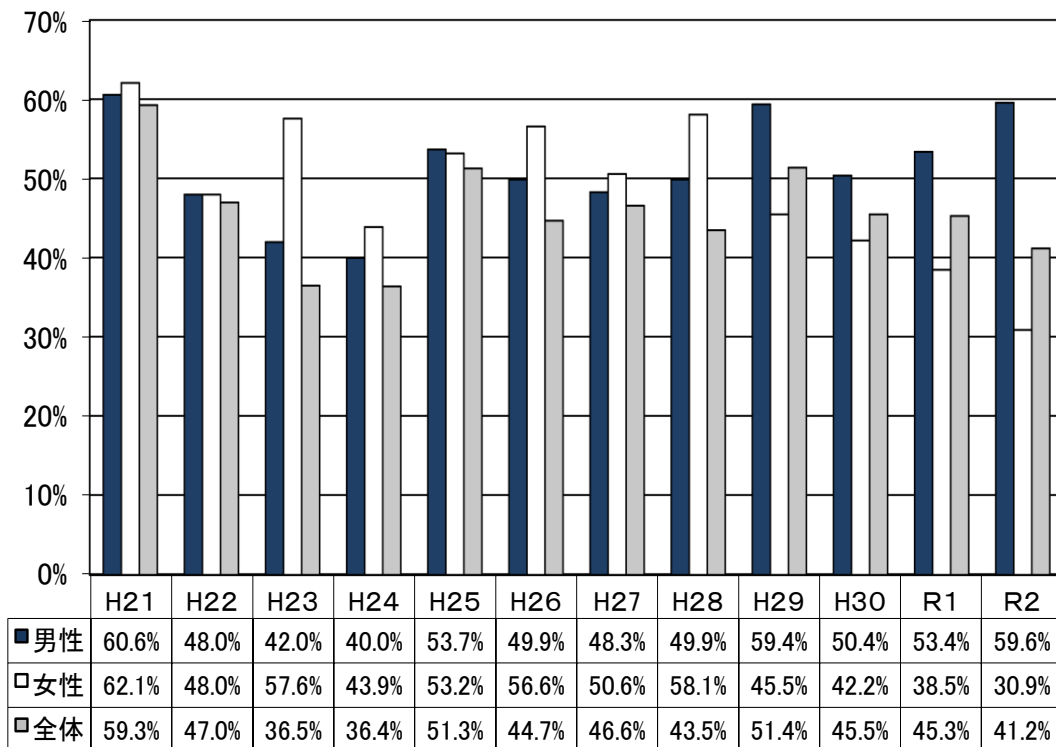


「長い間ずっと支持している政党がある」と答えた固定的政党支持者（15.1%）と、「そのときどきで変わるが支持する政党はある」（21.7%）「以前は支持する政党がなかったが現在はある」（4.2%）と答えた流動的政党支持者を合わせた「支持政党あり」の人は、41.0%と前年に比べて4.4ポイント減少しています。

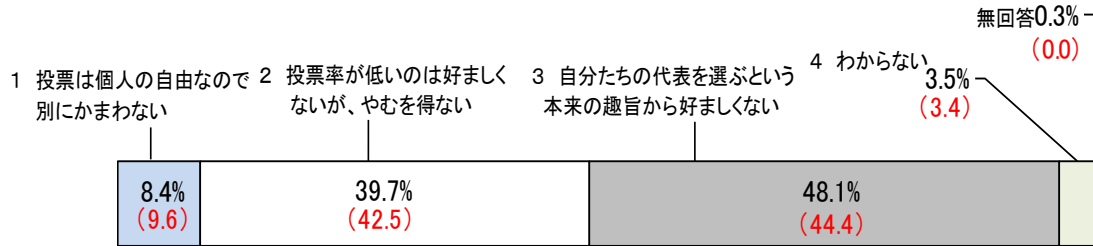
また、「以前は支持する政党があったが現在はない」あるいは「支持する政党はない」と答えた「支持政党なし」の人は、53.3%と前年より5.5ポイント増加しています。

男女別の「支持政党あり」をみますと、平成29年以降、男性は50%台で推移していますが、女性は減少傾向であり、今回最も低い30.9%という結果になりました。

図5 支持政党ありの推移



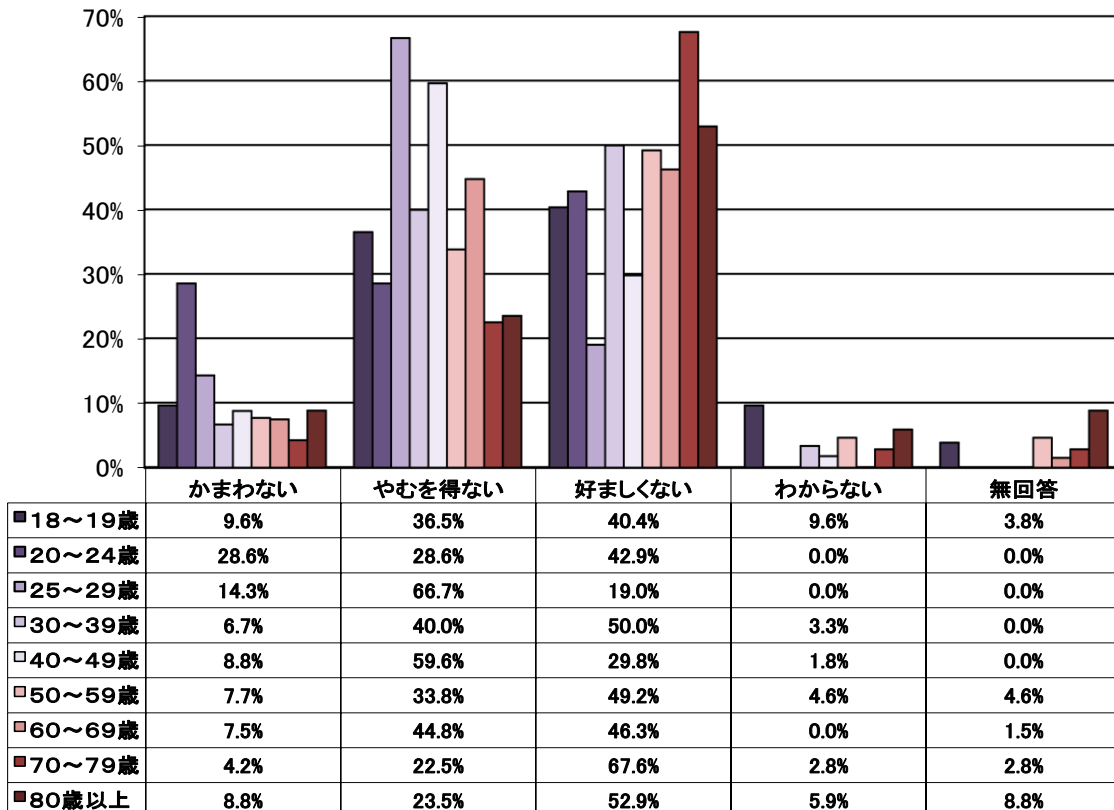
問5 近年、選挙の投票率は、低い状態が続いていますが、このような投票率が低いことについてどう思いますか。



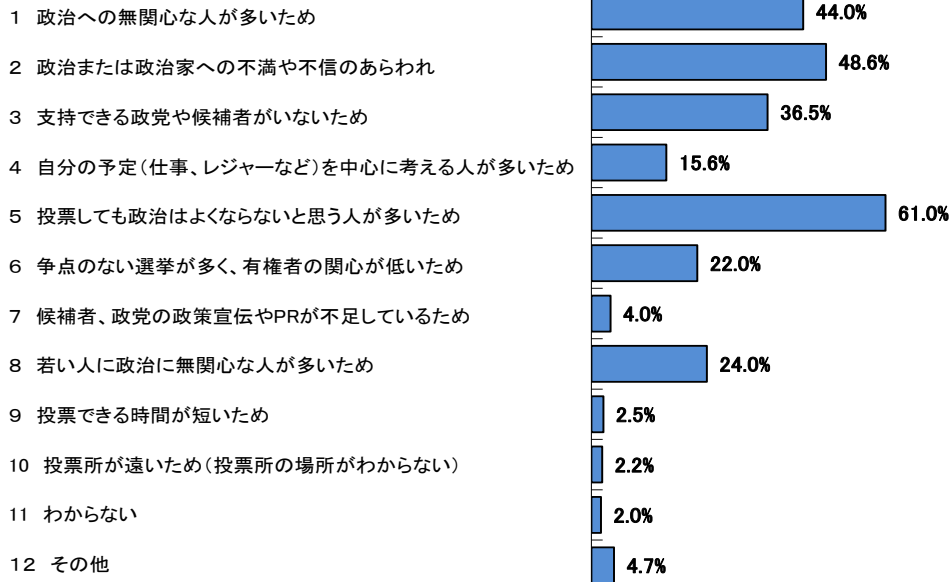
投票率が低いことについて、「好ましくない」(3と回答した人)が最も高く48.1%と約半数となっています。しかし、「かまわない」(1と回答した人)の肯定派と「やむを得ない」(2と回答した人)のあきらめ派を合わせた、低投票率を容認していると思われる人も約半数の48.1%となっており、低投票率が続いている状況を黙認している人が多いことがうかがえます。

年代別にみると、18～19歳では、「やむを得ない」(36.5%)と「好ましくない」(40.4%)がともに40%前後と近い数値となっていますが、25～29歳では、「やむを得ない」が66.7%、「好ましくない」が19.0%と大きな開きが生じています。年代が上がるほど「好ましくない」が高くなる傾向であることから、周りの環境が変わり、これに伴い選挙に対する意識も変化していくようです。

図6 低投票率についての意識 (年代別)



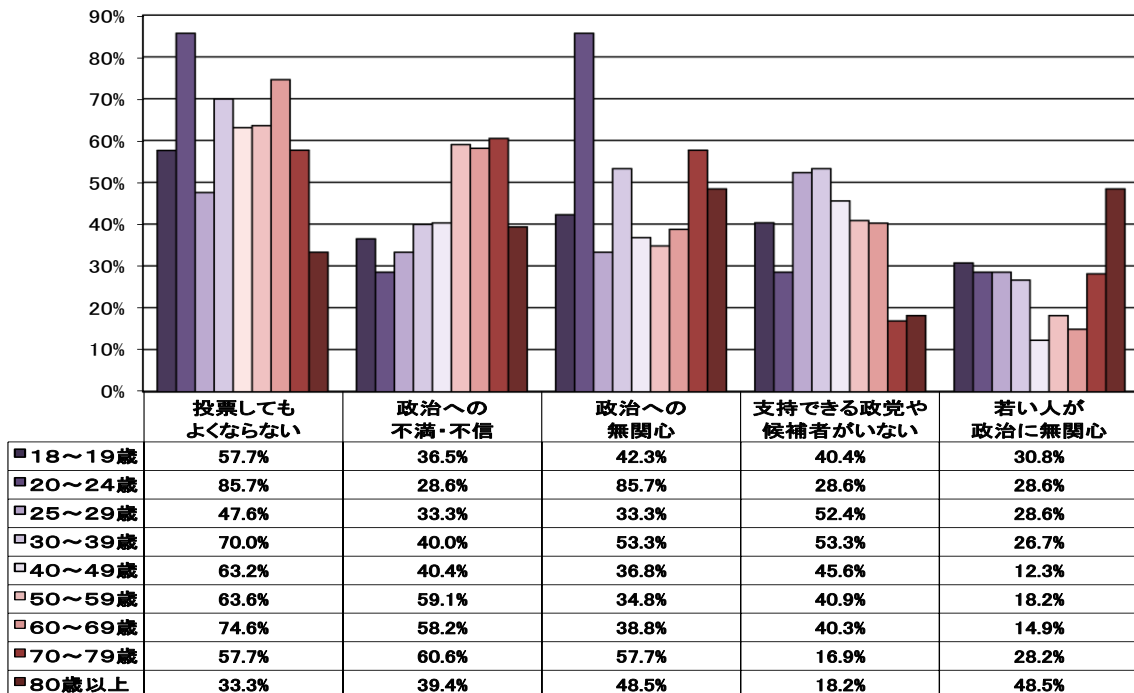
問6 近年の選挙で投票率が低い理由と思われるものを、次の中から3つまで選んでください。



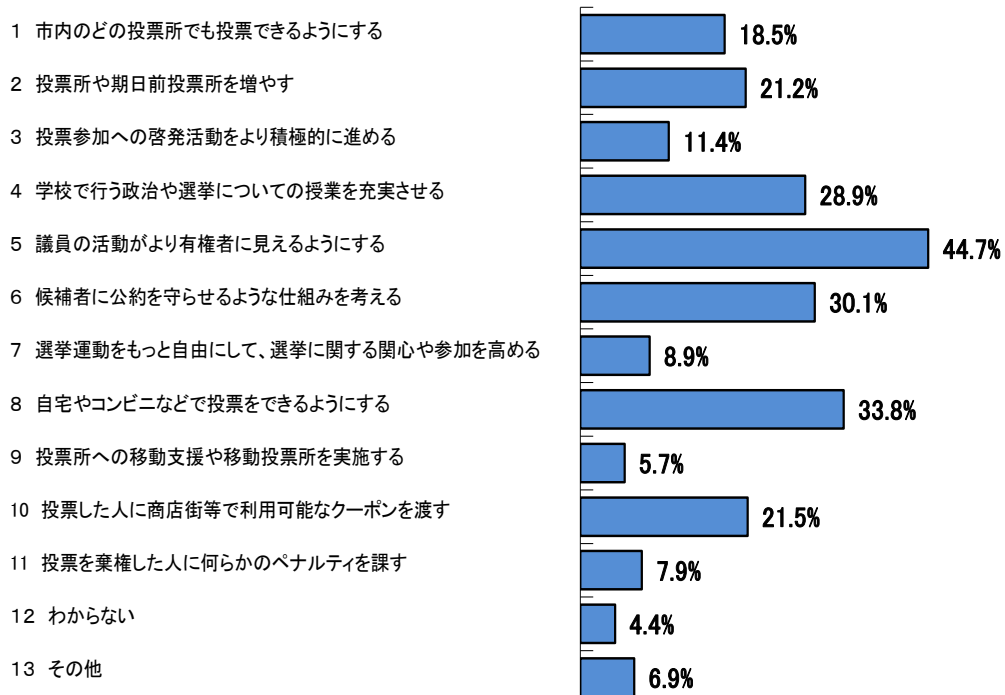
低投票率の要因として、「投票しても政治はよくなると思わない人が多いため」(61.0%)が最も多く、次に「政治または政治家への不満や不信のあらわれ」(48.6%)、「政治への無関心」(44.0%)、「支持できる政党や候補者がいないため」(36.5%)と、政治や政治家に対する不信感を強く示す結果になりました。

年代別にみると、20～24歳代で「投票してもよくなる」(85.7%)と、「政治への無関心」(85.7%)が特に高く、一方、80歳代以上では「政治への無関心」(48.5%)と「若い人が政治に無関心」(48.5%)が高くなっており、無関心が最大の要因と捉えているようです。

図7 低投票率理由の年代別内訳(上位5位)



問7 投票率を上げるためにはどのような方法が良いと思いますか。
次の中から3つまで選んでください。



投票率を上げるための方法として、3つまで選択していただきました。最も多かったのは、「議員の活動がより有権者に見えるようにする」が44.7%、2番目は、「自宅やコンビニなどで投票をできるようにする」が33.8%、3番目は、「候補者に公約を守らせるような仕組みを考える」が30.1%、4番目は、「学校で行う政治や選挙についての授業を充実させる」が28.9%という結果になりました。

昨年の調査における上位は、「自宅やコンビニなどで投票をできるようにする」が41.3%、「議員の活動がより有権者に見えるようにする」が35.7%、「学校で行う政治や選挙についての授業を充実させる」が32.0%、「候補者に公約を守らせるような仕組みを考える」が25.8%でしたので、順位に変動はあったものの、投票率向上のための方法には変わりはないようです。



みんなの一票大切に！

図8、図9は、問7の結果を年代別に分析し、まとめたものです。

「議員活動の見える化」は、各年代で総じて高いことから、普段の政治活動を知ること
で、投票の際の判断材料となるのではないかと考えている人が多いことがわかります。

また、40歳代以下で「クーポン等の配布」が多く選択されているのは、日常生活のいたるところでクーポンが用いられていることから、若い年代においては投票の際のインセンティブ（動機付け）になるのではないかと考えていると思われます。

図8 投票率を上げるための方法（年代別） ※3つまで選択可

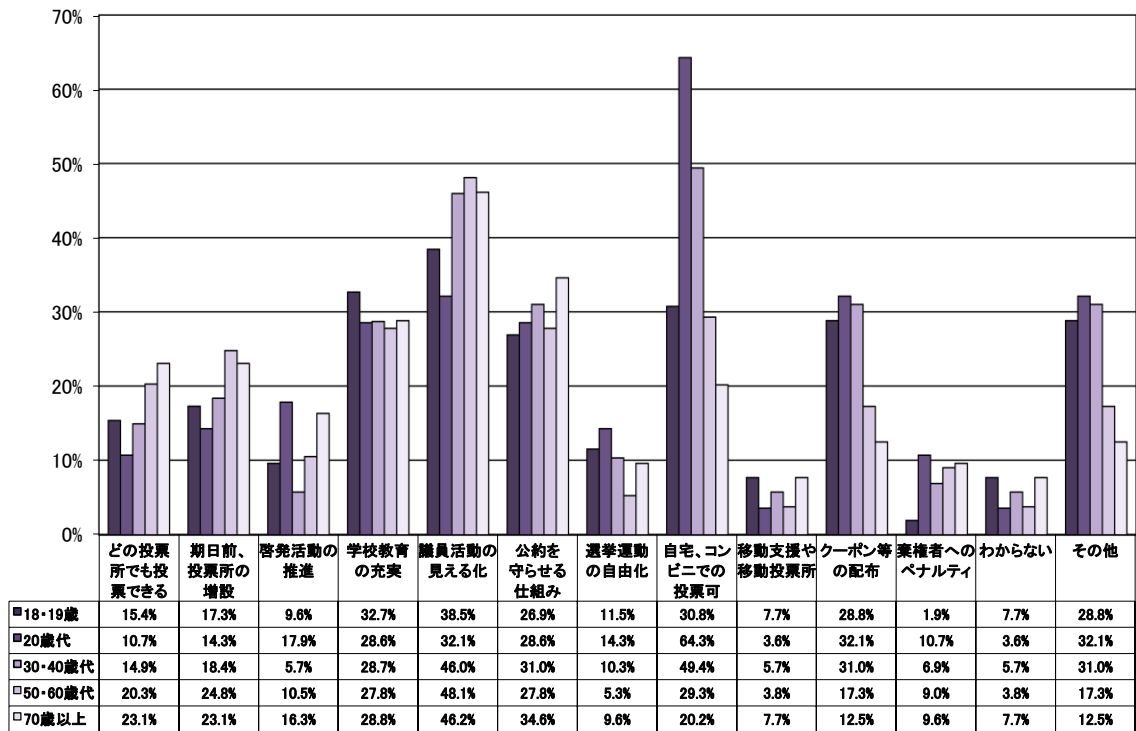
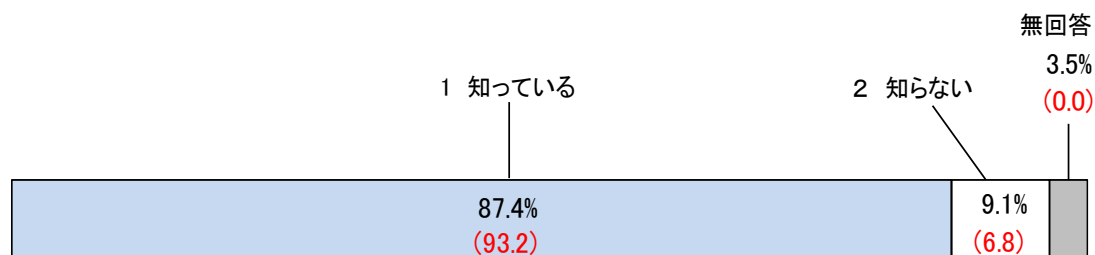


図9 投票率を上げるための方法（年代別上位5位） ※その他は除く

	1位:年代別割合	2位:年代別割合	3位:年代別割合	4位:年代別割合	5位:年代別割合
18・19歳	議員活動の見える化 38.5%	学校教育の充実 32.7%	自宅、コンビニで投票可 30.8%	クーポン等の配布 28.5%	期日前、投票所の増設 17.3%
20歳代	自宅、コンビニで投票可 64.3%	議員活動の見える化 クーポン等の配布 32.1%		学校教育の充実 公約を守らせる仕組み 28.6%	
30・40歳代	自宅、コンビニで投票可 49.4%	議員活動の見える化 46.0%	公約を守らせる仕組み クーポン等の配布 31.0%		学校教育の充実 28.7%
50・60歳代	議員活動の見える化 48.1%	自宅、コンビニで投票可 29.3%	学校教育の充実 公約を守らせる仕組み 27.8%		期日前、投票所の増設 24.8%
70歳代以上	議員活動の見える化 46.2%	公約を守らせる仕組み 34.6%	学校教育の充実 28.8%	どの投票所でもできる 期日前、投票所の増設 23.1%	

問8 あなたは、期日前投票をご存知ですか。



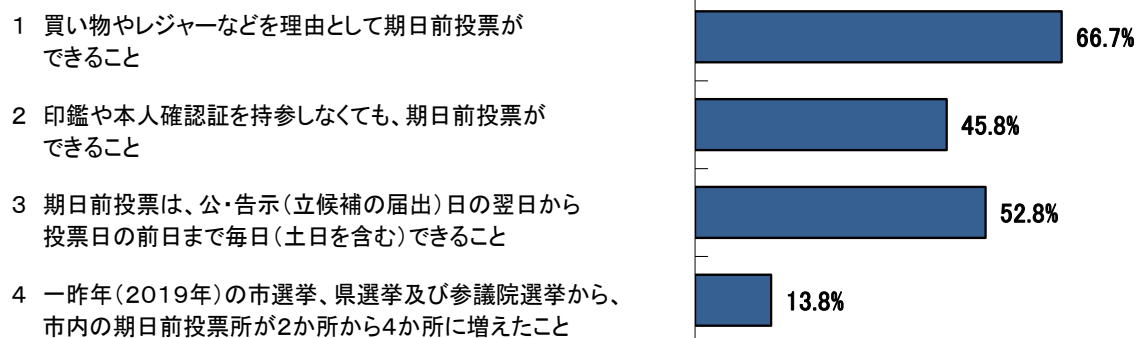
期日前投票の制度自体は 87.4%の人が知っていると答えており、平成 16 年から開始された期日前投票制度が、多くの人に認知されていることがわかります。

期日前投票制度を知っていると回答した人のうち「買い物やレジヤーなどを理由として期日前投票ができること」については、66.7%の人が知っていると答えています。

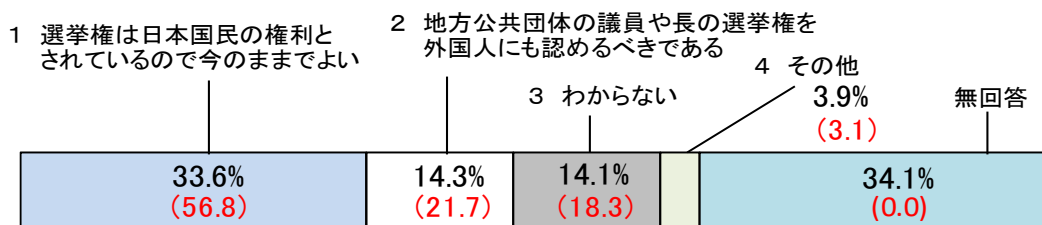
また、「公・告示（立候補の届出）日の翌日から投票日の前日まで毎日（土日を含む）できること」については 52.8%、「印鑑や本人確認証を持参しなくても、期日前投票ができること」は 45.8%と、期日前投票制度の内容まで周知されてきているものの、「一昨年（2019年）の市選挙、県選挙及び参議院選挙から、市内の期日前投票が2か所から4か所に増えたこと」についての認知度については、13.8%とかなり低い結果となりました。

なお、次回の選挙から期日前投票所の場所、開設期間及び時間が一部変更となることから、引き続き、期日前投票制度について周知に努めていきたいと考えております。

問8の1 次の1から4までについて、知っている項目をすべて選んでください。（複数回答可）



問9 国内在住の日本国籍を有していない人(外国人)は国政選挙と同様に地方公共団体の議員や長の選挙権(投票する権利)がありませんが、どう思いますか。



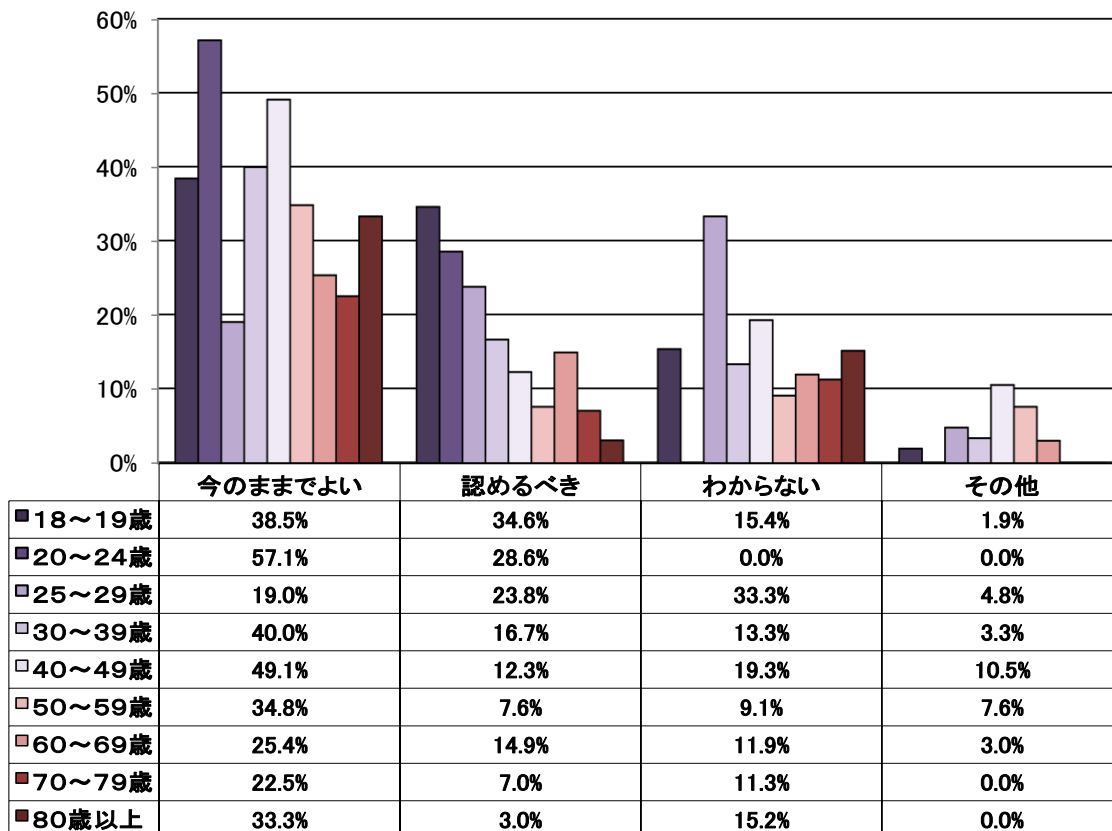
外国人に選挙権を付与することについては、「選挙権は日本国民の権利とされているので今のままでよい」が33.6%となっており、3割の人が否定的な回答をしています。

一方、「地方公共団体の議員や長の選挙権を外国人にも認めるべきである」と回答した人は14.3%であり、この10年間において平成24年度の調査(13.0%)に次ぐ低い結果となりました。

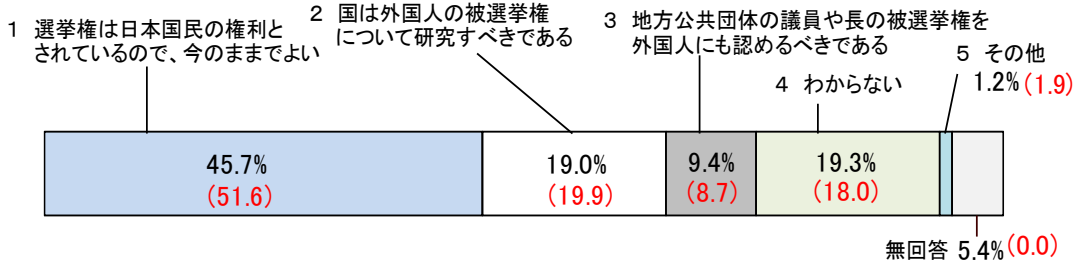
なお、「その他」の回答では、「税金を納めているなら認めるべき」、「在住期間によっては認めてもよい」などがありました。

年代別にみると、24歳以下で「認めるべきである」と答えている人の傾向が3割前後と高いものの、年代が上がるにつれて参政権を認める割合が減少傾向となっています。

図10 「外国人の選挙権」に関する意識の年代別内訳



問10 また、同じように、こうした人は、地方公共団体の議員や長の被選挙権(選挙の候補者となる権利)もありませんが、どう思いますか。



外国人の被選挙権についても、「被選挙権は日本国民の権利とされているので今のままでよい」が45.7%と最も多く、半数近くの人が否定的です。

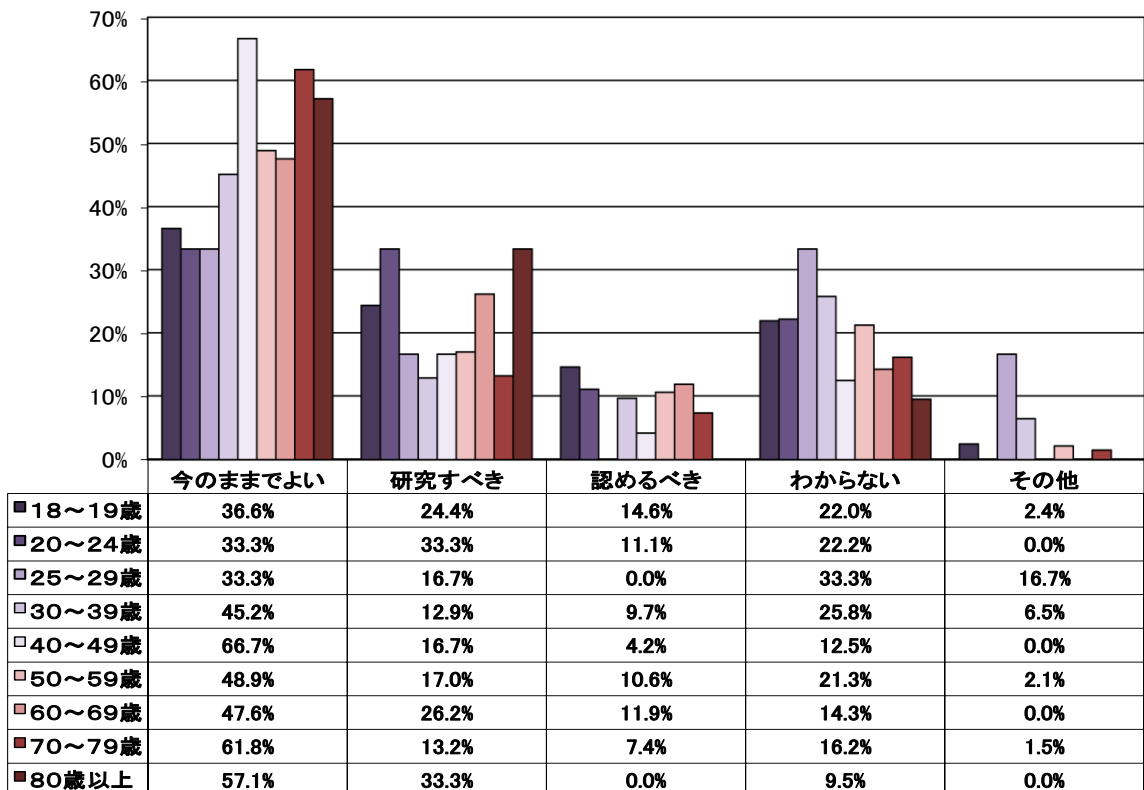
問9で「地方公共団体の議員や長の選挙権を外国人にも認めるべきである」と回答した人は14.3%ありましたが、外国人の被選挙権について認める人は9.4%と低くなっており、変わらず慎重な意見が多いことがうかがえます。

なお、「その他」の回答では、「在住期間によっては認めてもよい」との意見がありました。

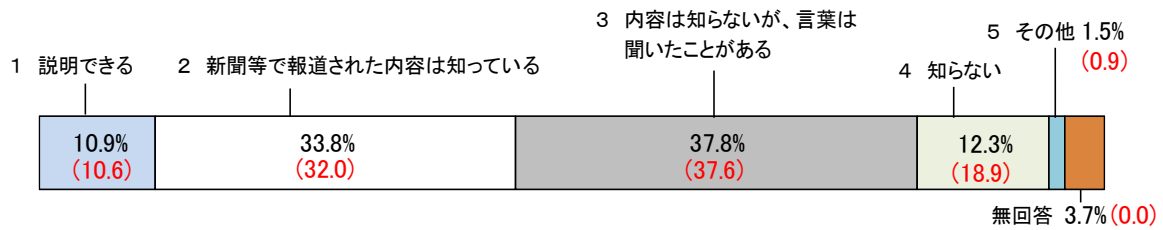
年代別にみると、「今のままでよい」と回答した人の割合はすべての年代で高くなっています。

また、選挙権について「認めるべきである」と3割近くが答えた24歳以下においても、「被選挙権を認めるべきである」の割合は、約1割強と低くなっています。

図11 「外国人の被選挙権」に関する意識の年代別内訳



問11 憲法改正のためには、国民が賛否を投票(国民投票制度)することが必要となりますが、この制度を知っていますか。



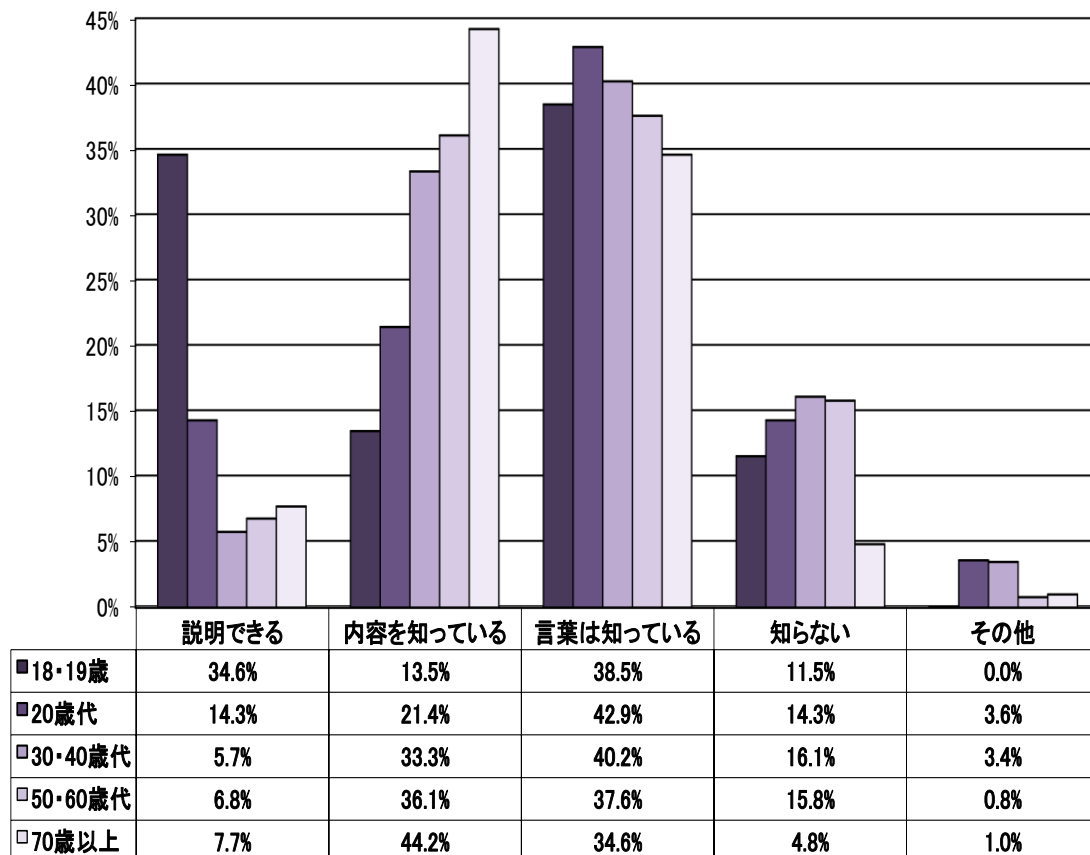
憲法改正が政治の話題となる機会があることから、憲法改正に必要な手続きである国民投票制度の認知状況について質問をしました。

制度の内容まで「説明できる」と回答した方は10.9%でしたが、「新聞等で報道された内容は知っている」(33.8%)と「内容は知らないが、言葉は聞いたことがある」(37.8%)を合わせると82.5%となり、「国民投票」という言葉については広く認知されていることが確認できました。

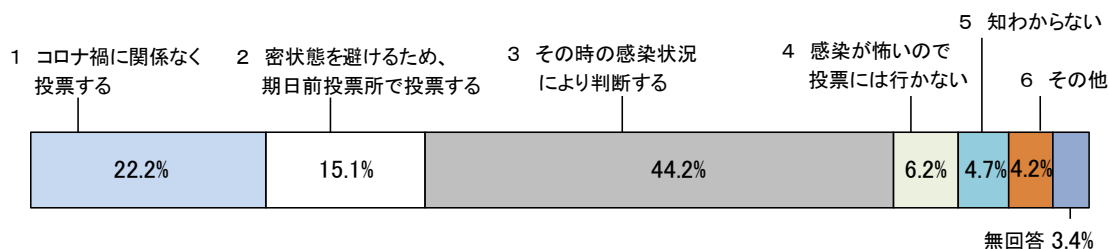
年代別にみると、各年代4割前後の人が「言葉は知っている」と答えていることが分かります。

また、18・19歳代では3割が「説明できる」と答えており、学校の授業で取り上げられている効果が表れているものと思われます。

図12 国民投票制度の認知状況(年代別)



問12 コロナ禍で行う選挙では、各投票所で感染症の対策を講じていますが、コロナ禍での投票について、どう思いますか。



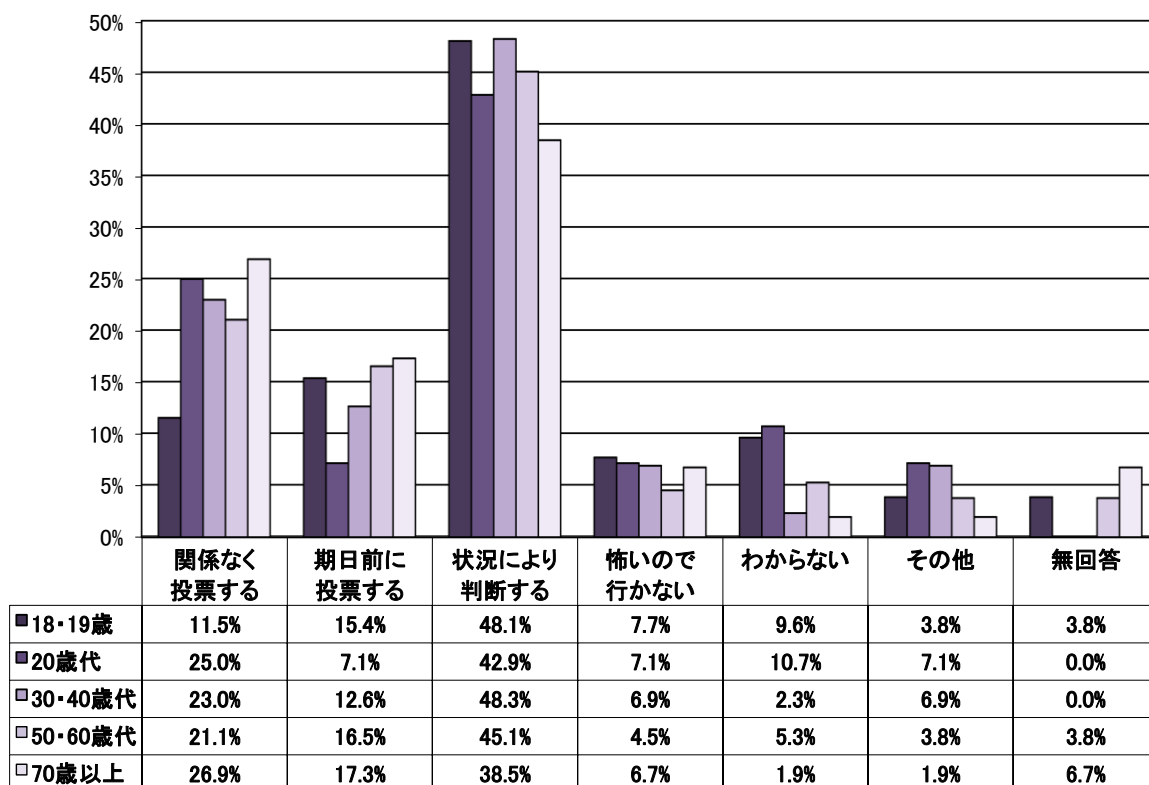
各自治体の選挙管理委員会では新型コロナウイルス感染症対策への取り組みとして、投票所にアルコール消毒液の設置や飛沫防止対策等を講じて選挙を実施しておりますが、コロナ禍における投票の意識について質問しました。

「その時の感染状況で判断する」(44.2%)が最も多く、「関係なく投票する」(22.2%)と「期日前投票所で投票する」(15.1%)を合わせると「投票する」は37.3%でした。一方、「感染が怖いので行かない」(6.2%)と回答したのは少数であり、各年代でもほぼ同じ傾向を示しています。

なお、「その他」の回答では、「インターネットによる投票」、「在宅投票」を望むとの意見がありました。

今回の調査結果から、感染状況が投票率に大きな影響を与えることが分かりましたので、コロナ禍で選挙を執行した自治体における感染症対策の事例を参考にして、安心して投票していただけるよう取り組んでまいりたいと考えています。

図13 コロナ禍での投票（年代別）



(6) 意見・感想の集計

自由意見の集計 (172 件)

意識調査にご協力をいただいた方で、意見・感想をご記入いただいたものについて、分類集計いたしました。

1. 政治家（政党）に関する意見 (63 件)

- ①政治家の不正や無責任等に対する不信 (17 件)
- ②投票したいと思う政治家（政党）がない (2 件)
- ③政治家（政党）の政治に対する姿勢への不満 (7 件)
- ④公約について（守られないことへの批判、分かりやすく簡素化、各党の公約が比較しやすいように統一してほしいなど） (4 件)
- ⑤政治家（政党）の批判合戦に対する不満 (2 件)
- ⑥議員・候補者の意見や活動が分かりにくい (6 件)
- ⑦議員の高齢化について (5 件)
- ⑧議員定数や議員報酬について (7 件)
- ⑨国会運営への批判 (1 件)
- ⑩野党について (4 件)
- ⑪政党が多すぎる (2 件)
- ⑫その他 (6 件)

2. 政治に関する意見 (14 件)

- ①現状の政治に不満がある（分かりにくさ、制度、不祥事等） (5 件)
- ②政治に費用がかかり過ぎている (1 件)
- ③コロナ対策の政治 (1 件)
- ④今後の政治への願い等 (5 件)
- ⑤外交について (2 件)

3. 選挙制度に関する意見 (12 件)

- ①今の時代に合致していな公職選挙法への批判 (9 件)
- ②日本国籍と選挙権について (3 件)

4. 生活（所得、税金、老後等）に関する意見 (1 件)

- ①所得が増えないことへの不安 (1 件)

5. 主権者教育に関する意見 (12 件)

- ①主権者教育の重要性 (9 件)
- ②保護者や家族からの教育の大切さ (3 件)

6. 投票環境の向上に関する意見 (26 件)

- ①投票所・期日前投票所の増設・時間延長に関する意見 (6 件)
- ②インターネット及びコンビニエンスストアでの投票推進に関する意見 (12 件)
- ③選挙の情報が分かりやすいサイトが欲しい (2 件)
- ④期日前投票や不在者投票の手続きを簡単に (1 件)
- ⑤その他 (5 件)

7. その他 (44 件)

- ①日本の将来についての意見 (1 件)
- ②政治や選挙の無関心 (5 件)
- ③市政・市議会に対する意見 (7 件)
- ④選管に関すること (4 件)
- ⑤このアンケート調査について (13 件)
- ⑥その他 (10 件)
- ⑦政治や選挙に関心がある (4 件)

4 調 査 票

令和2年度

政治と選挙についての意識調査

大和市明るい選挙推進協議会
大和市選挙管理委員会事務局

電話：046(260)5542

(電話受付時間：月曜日～金曜日 ※祝日を除く
9:00～12:00、13:00～17:00)

回収順番号

《記入及び郵送についてお願い》

- 必ずご本人が記入してください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。
- 設問は上から順に回答してください。また矢印や指示がある場合は、それに従ってください。
- 記入が終わりましたら、お手数ですが同封の返信用封筒でご返送ください。
- 2月20日(土)までにご投函くださいますよう、ご協力をお願い申し上げます。

■ 最初にあなた自身のことについてお聞かせください。

性 別	1 男性	2 女性		
年 代	1 18～19歳	2 20～24歳	3 25～29歳	4 30～39歳
	5 40～49歳	6 50～59歳	7 60～69歳	8 70～79歳
	9 80歳以上			
職 業	(自営業、家族従事者)			
	1 農・林・漁業		2 商・工業(商店、個人工場経営者など)	
	3 自由業(開業医、弁護士、芸術家など)		4 建設業	
	(勤め人)			
	5 管理職(企業や公務員の課長職以上)		6 事務職(一般事務、経理など)	
	7 専門技術職(医師、看護師、技術者、教師、保育士など)		8 現業職・販売職(作業的な仕事、販売・サービスの仕事、パート的な仕事など)	
	(無職)			
	9 主婦・主夫(専業)		10 学生	
	11 その他の無職			
居住地区	1 下鶴間・つきみ野		2 中央林間・中央林間西	
	3 南林間・林間・鶴間(2丁目)・西鶴間(1丁目、2丁目、6丁目～8丁目)		4 鶴間(1丁目)・西鶴間(3丁目～5丁目)	
	5 上草柳・桜森		6 深見・深見西・深見東・深見台・大和東・大和南	
	7 中央・草柳(1丁目、2丁目)・下草柳		8 草柳(3丁目)・柳橋・福田(1丁目～8丁目)	
	9 上和田(上和田団地を除く)		10 上和田団地・下和田・いちょう団地	
	11 福田(地番)・渋谷・代官			
現住所の居住年数	1 1年未満	2 1～5年未満	3 5～10年未満	4 10～20年未満
	5 20～30年未満	6 30年以上	7 わからない	
投票所までの所要時間	1 5分未満	2 10分未満	3 20分未満	4 20分以上
	5 わからない	※「徒歩」による移動を想定した場合の時間数で番号を選択してください。		

問1 あなたは、現在の生活についてどう感じていますか。次の中から1つ選んでください。

- 満足している
- だいたい満足している
- やや不満である
- 不満である
- なんともいえない

問2 あなたは、現在の国の政治についてどう感じていますか。次の中から1つ選んでください。

- 満足している
- だいたい満足している
- やや不満である
- 不満である
- なんともいえない

問3 あなたは、日頃国の政治に関心をもっていますか。次の中から1つ選んでください。

- 非常に関心をもっている
 - ある程度関心をもっている
 - あまり関心がない
 - まったく関心がない
- (1、2と回答された方は 問3の1へ) (3、4と回答された方は 問3の2へ)

(問3の1) その理由は何ですか。次の中から1つ選んでください。

- 自分の生活に密接な関係があるから
- 各個人が政治に関心をもつことが民主政治には必要だから
- 政治自体に興味があるから
- 政治に関与する余裕があるから
- その他(具体的に:)

(問3の2) その理由は何ですか。次の中から1つ選んでください。

- 自分の生活に政治は関係ないから
- 個人の意見は政治に影響を与えないから
- 政治自体に興味がないから
- 政治に関与する余裕がないから
- その他(具体的に:)

問4 あなたは、支持する政党がありますか。次の中から1つ選んでください。

- 長い間ずっと支持している政党がある
- そのときどきで変わるが、支持する政党はある
- 以前は支持する政党がなかったが、現在はある
- 以前は支持する政党があったが、現在はない
- 支持する政党はない
- わからない

(裏面にも設問がありますので、ご協力をお願いいたします。)

問5 選挙の投票率は低い状態が続いていますが、このように投票率が低いことについてどう思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 投票は個人の自由なので別にかまわない
- 2 投票率が低いのは好ましくないが、やむを得ない
- 3 自分たちの代表を選ぶという本来の趣旨から、好ましくない
- 4 わからない

問6 近年の選挙で投票率が低い理由と思われるものを、次の中から3つまで選んでください。

- 1 政治への無関心な人が多いため
- 2 政治または政治家への不満や不信のあらわれ
- 3 支持できる政党や候補者がいないため
- 4 自分の予定（仕事、レジャーなど）を中心に考える人が多いため
- 5 投票しても政治はよくなると思う人が多いため
- 6 争点のない選挙が多く、有権者の関心が低いため
- 7 候補者、政党の政策宣伝やPRが不足しているため
- 8 若い人に政治に無関心な人が多いため
- 9 投票できる時間が短いため
- 10 投票所が遠いため（投票所の場所がわからない）
- 11 わからない
- 12 その他（具体的に： _____）

問7 投票率を上げるためにはどのような方法が良いと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを3つまで選んでください。

- 1 市内のどの投票所でも投票できるようにする
- 2 投票所や期日前投票所の場所を増やす
- 3 投票参加への啓発活動をより積極的に進める
- 4 学校で行う政治や選挙についての授業を充実させる
- 5 議員の活動がより有権者に見えるようにする
- 6 候補者に公約を守らせるような仕組みを考える
- 7 選挙運動をもっと自由にして、選挙に関する関心や参加を高める
- 8 自宅やコンビニなどで投票をできるようにする
- 9 投票所への移動支援や移動投票所を実施する
- 10 投票した人に商店街等で利用可能なクーポンを渡す
- 11 投票を棄権した人に何らかのペナルティを課す
- 12 わからない
- 13 その他（具体的に： _____）

問8 あなたは期日前投票制度をご存知ですか。

- 1 知っている（1と回答された方は問8の1へ）
- 2 知らない（2と回答された方は問9へ）

（問8の1）次の中から知っている項目をすべて選んでください。

- 1 買い物やレジャーなどを理由として期日前投票ができること
- 2 印鑑や本人確認証を持参しなくても、期日前投票ができること
- 3 期日前投票は、公・告示（立候補の届出）日の翌日から投票日の前日まで毎日（土日を含む）できること
- 4 一昨年（2019年）の市選挙、県選挙及び参議院選挙から、市内の期日前投票所が2か所から4か所に増えたこと

問9 国内在住の日本国籍を有していない人（外国人）は、国政選挙（衆・参議院選挙）と同様に地方公共団体の議員や長の選挙権（投票する権利）がありませんが、どう思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 選挙権は日本国民の権利とされているので、今のままで良い
- 2 地方公共団体の議員や長の選挙権を外国人にも認めるべきである
- 3 わからない
- 4 その他（具体的に： _____）

問10 また同じように、こうした人は、地方公共団体の議員や長の被選挙権（候補者となる権利）もありませんが、どう思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 被選挙権は日本国民の権利とされているので、今のままで良い
- 2 国は外国人の被選挙権について研究すべきである
- 3 地方公共団体の議員や長の被選挙権を外国人にも認めるべきである
- 4 わからない
- 5 その他（具体的に： _____）

問11 憲法改正のためには、国民が賛否を投票（国民投票制度）することが必要となりますが、あなたはこの制度をご存知ですか。次の中から1つ選んでください。

- 1 知人等に説明できる程度は知っている
- 2 新聞等で報道された内容は知っている
- 3 内容は知らないが「国民投票（制度）」という言葉は聞いたことがある
- 4 知らない
- 5 その他（具体的に： _____）

問12 コロナ禍で行う選挙では、各投票所で感染症の対策を講じていますが、コロナ禍での投票について、どう思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 コロナ禍に関係なく投票する
- 2 密状態を避けるため、期日前投票所で投票する
- 3 その時の感染状況により判断する
- 4 感染が怖いので投票には行かない
- 5 わからない
- 6 その他（具体的に： _____）

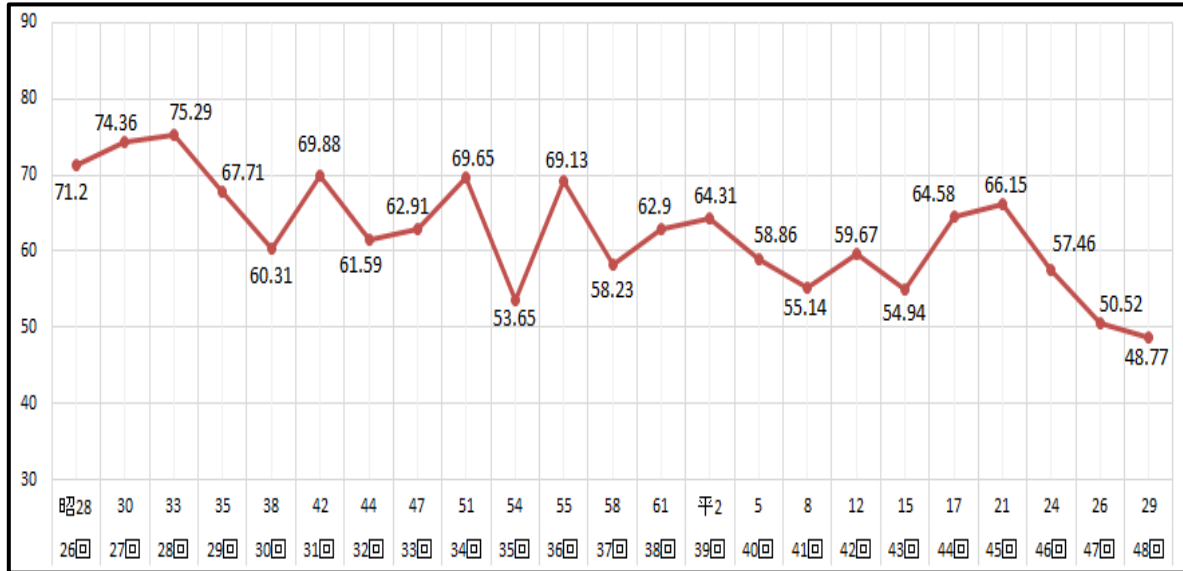
◎自由意見欄：政治や選挙に関して日頃から感じていること、またはこのアンケートに回答して感じたこと等、自由に記入ください。

[_____]

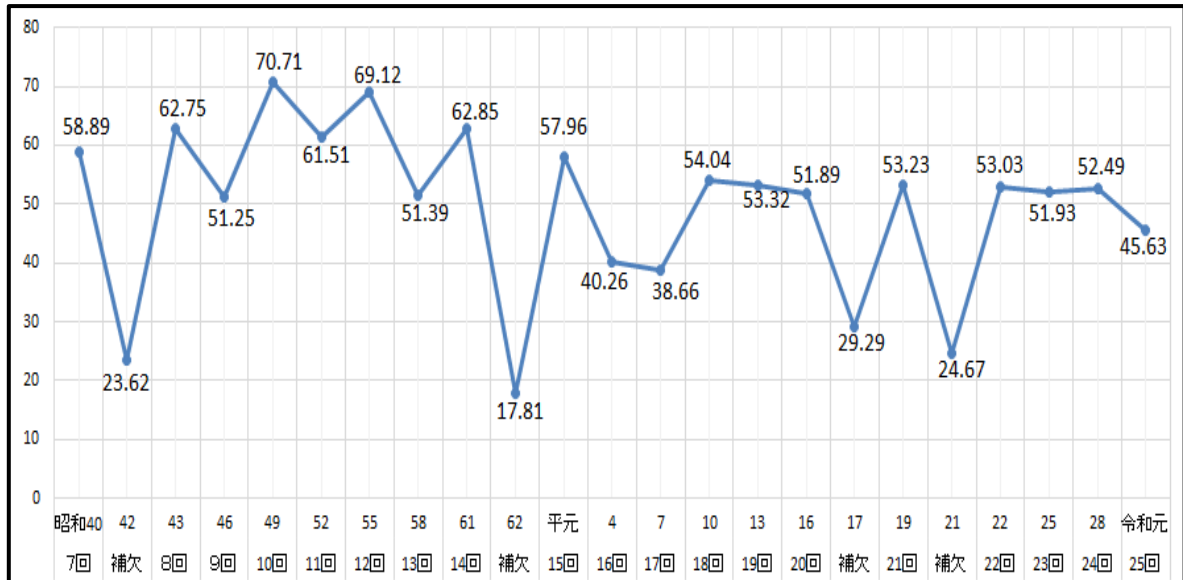
ご協力ありがとうございました。

5 資 料

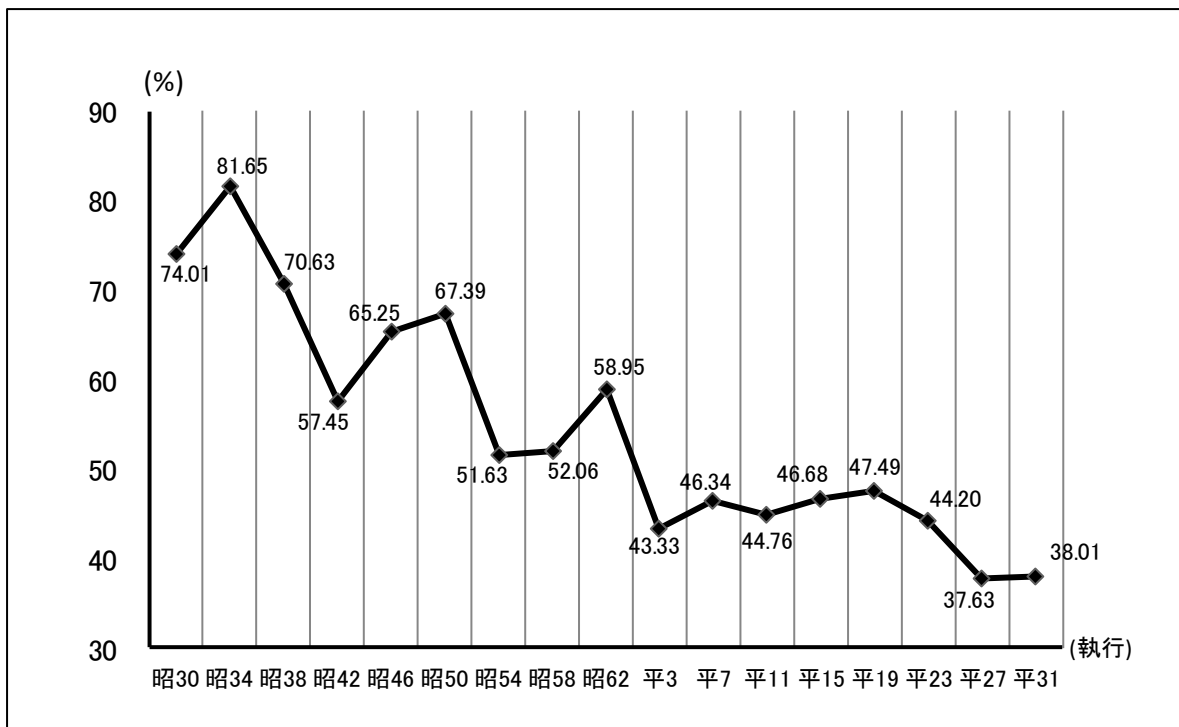
(1) 衆議院小選挙区選出議員選挙投票率の推移（大和市）



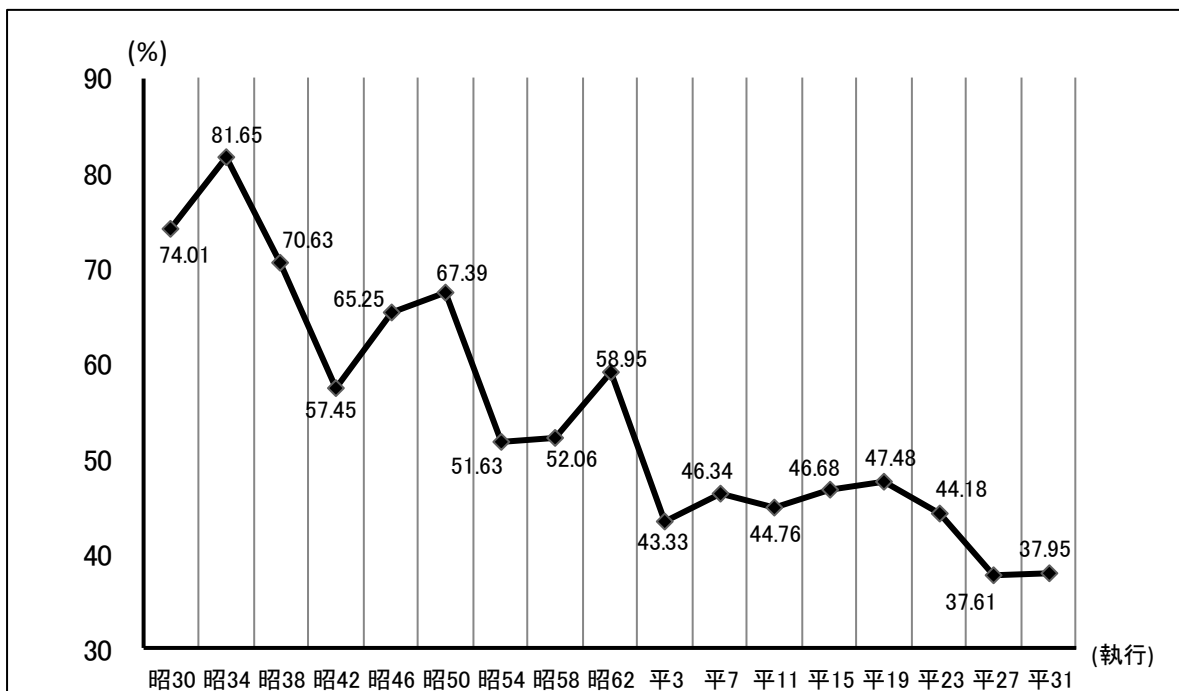
(2) 参議院神奈川県選出議員選挙投票率の推移（大和市）



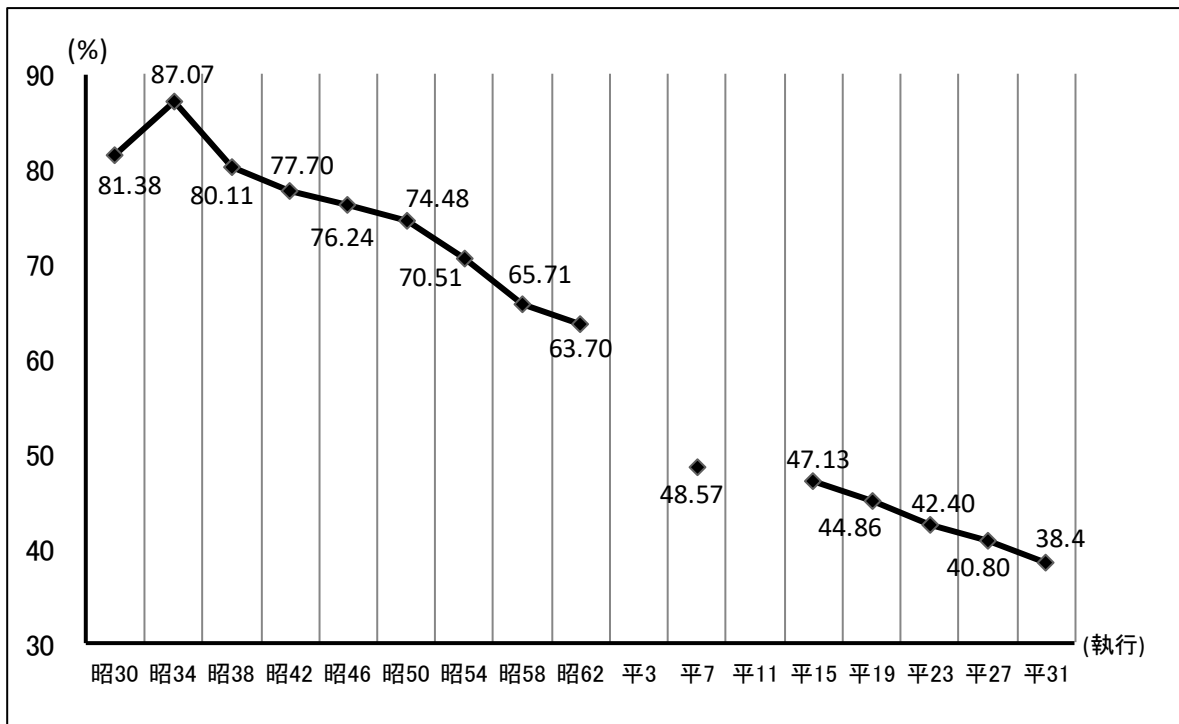
(3) 神奈川県知事選挙投票率の推移（大和市）



(4) 神奈川県議会議員選挙投票率の推移（大和市）

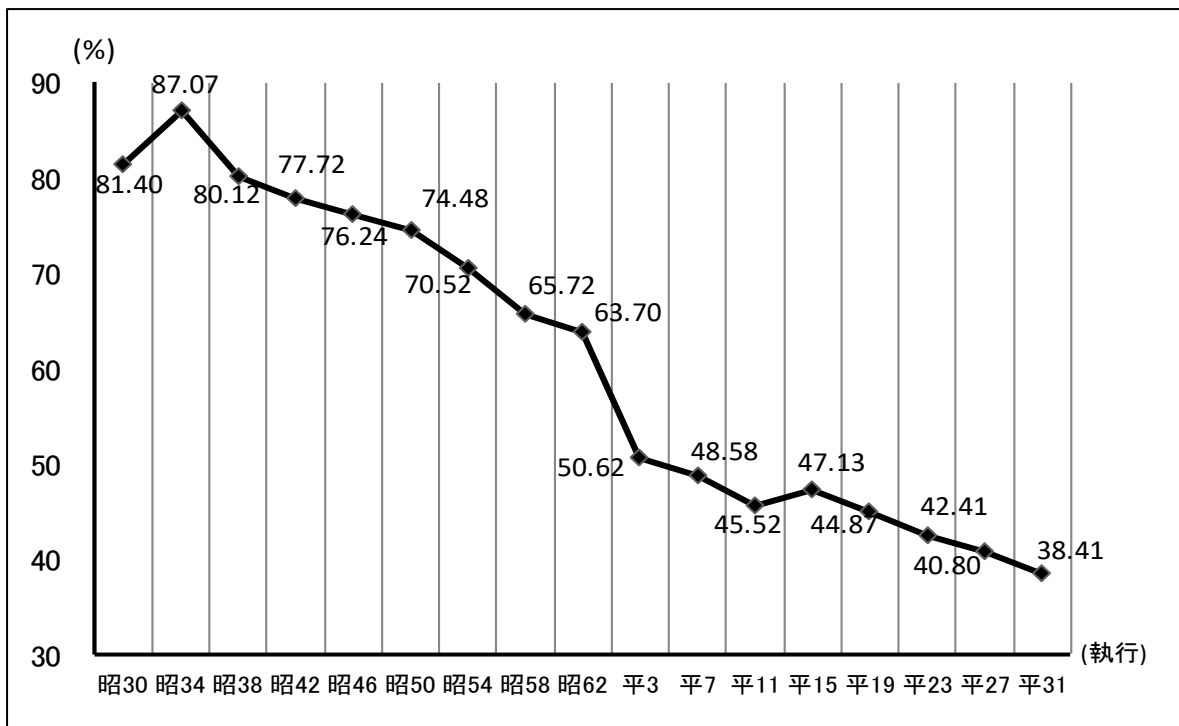


(5) 大和市長選挙投票率の推移



※平成3年及び11年は無投票

(6) 大和市議会議員選挙投票率の推移



☆ みんなの一票大切に！ ☆



明るい選挙キャラクター「選挙のめいすいくん」